

戦火よびこむ「安保三文書」破棄せよ、戦争の覚悟でなく、平和の国づくりを たたかい続けよう
再び戦争する国になってはいけない・・・県下各地で赤紙配り

2025.12.9 毎日

豊岡市のJR豊岡駅
近くの街頭で8日、但馬地域の市民組織「但馬母親大会連絡会」が、買い物客や高校生らに戦時の赤紙（臨時召集令状）を模した赤色のビラを配り、反戦と平和を呼び掛けた。8日は、太平洋戦争の始まりとなった旧日本軍による米ハワイの真珠湾

2025.12.9 毎日

戦後80年

豊岡

反戦と平和願う

赤紙"ビラ"配り

攻撃から84年に当たる。チラシ配りには、新日本婦人の会や全日本年金者組合の地元メンバー。連絡会の三木美保代

反戦平和を呼び掛ける但馬母親大会連絡会メンバー（左端）ら

豊岡市で

表は「戦時に女性は団体でかつぼうを着て戦意高揚を図り、男性は赤紙でいや応なく戦地へ送られた。繰り返してはいけない歴史と思う。国は防衛費を増やさず、話し合いによる外交をしつかりしてほしい」と望んだ。

ビラを手にした県立高校2年の生徒は「今はこういう赤紙はないけど、とてもいやなことだと思う。平和を大事にしたい」と話した。

【浜本年弘】

兵庫県母親大会連絡会に結集する方は、12月8日県下各地で“召集令状（赤紙）”を人々に配り、徴兵制度の悲惨な姿を訴えながら「再び戦争になってはいけない」と語り続けました。

三宮マルイ前は20名が参加し200枚を手渡しました。JR六甲道では16人が110枚を手渡し、「がんばってね」の声がいっぱいでした。尼崎駅前では20人、西宮各駅で35人がかけつけて配布しました。

毎日新聞は、但馬での状況を左記記事のように詳しく報道しました。

憲法屋パレード

青年ふたり飛び入り参加

12月9日神戸三宮から元町へ兵庫県憲法共同センターの『止めよう9条改憲！いかそう憲法』昼休みパレード。開始前集会で自由法曹団吉田惟一弁護士は、自維高市政権の大軍拡や首相の台湾有事発言の誤りを批判、「防衛装備庁が川崎重工に潜水艦の水中発射ミサイル装置発注したことに、攻撃対象の国からすれば報復攻撃目標となり、それこそ神戸・川崎町が存立危機事態になる」と指摘しました。

「私の税金戦争に使うな」「軍事費より教育予算」「給食費無償化直ちに」「日本も

核兵器禁止条約に参加を」「裏金議員はやめて」「性被害をなくそう」「最低賃金1500円に」などをコール。



一緒に歩くふたりの青年も参加。商店街には大きなクリスマスツリー。総勢27名で元気よく三宮センター街を元町まで歩きました。買い物客から拍手をいただき、女子高校生が一緒にシュプレヒコールをしてくれました。

《壊憲阻止・戦争法等廃止・野党共闘・原発・行動案内》

※12/23(火)18:00～「みなと公園」65回平和のためのクリスマス闘争・市民集会とデモ

◇◆◇地域や団体の催し◆◇◇

★★★ 1月24日(土) 13時半～

2025ひょうご教育のつどいin尼崎

主催：兵庫教組・兵庫県高教組などによる実行委
場所：尼崎市中小企業センター多目的ホール

記念講演：安田菜津紀さん・フォトジャーナリスト
『紛争地、被災地に生きる人々の声、取材から見えてきたこと』

参加費無料

(連) 078-341-6745